

シーズ分野;臨床医学 教育

研究シーズ;医療面接実習用の対面会話ツール

— AIやDeep Learningを利用した教育ツールの開発 —



医学・看護学教育センター
教授 伊藤 俊之

「患者さんに信頼される話し方を学ぶ」 ～表情分析による共感的態度の定量化～

■関連文献・特許

- ・ PLoS One. 2016 Feb 9;11(2):e0149003
- ・ 医療面接、『看護師特定行為研修 共通科目テキストブックシリーズ』「臨床推論編」メディカルレビュー社 2017年出版予定

■研究概要

医療人-患者間の信頼関係を築くことは、医療面接の重要な目的の一つである。信頼関係の構築には、“共感的態度”が重要である。

共感的態度は、患者さんとのコミュニケーションの中で示される。コミュニケーションは言語、非言語で行われるが、コミュニケーションの約70%が非言語的と言われている。つまり、共感的態度を効率的に示すためには、非言語的なアプローチを発達させることが必須と言える。しかし、“共感的態度”の定量的評価が難しいこともあり、非言語的な共感的態度を指導することは容易ではない。

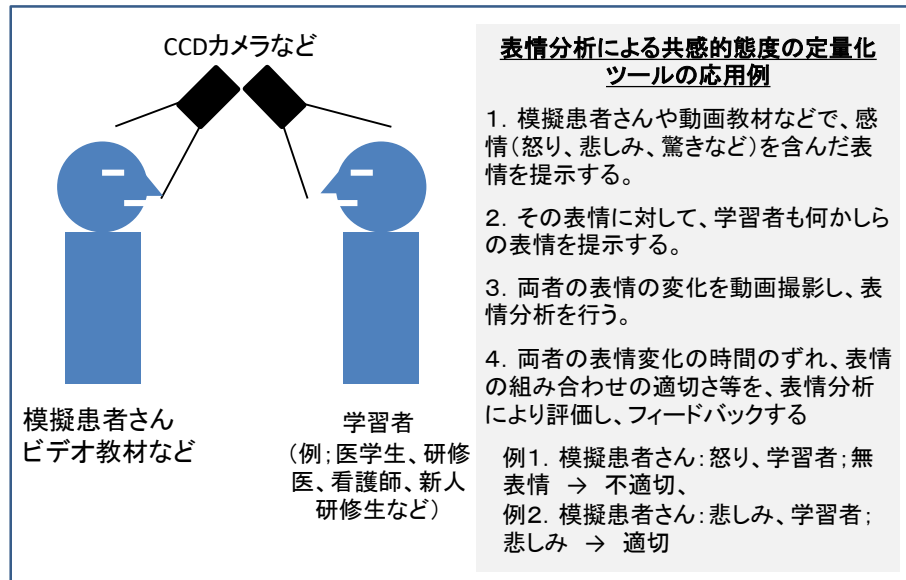
そこで、AI(人工知能)やDeep Learning(深層学習)を利用した学習者の表情分析による共感的態度の定量化ツールの開発を目指している。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・ 装置やプログラムの共同研究・開発
- ・ 一般企業での接遇実習への応用的展開も可能と思われる。

■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・ 上記テーマに関心を持ち、一緒に進めてくれる企業と開発したい。
- ・ 将来的には、上記技術をOSCE(Objective Structured Clinical Examination;オスキー)(客観的臨床能力試験)へ応用することなど、AIを応用した医学教育ツールを共同で開発したい。



お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp